

2021年3月 日本貿易振興機構（ジェトロ）サンクトペテルブルク事務所 作成

項目	ロシア	根拠資料
<b>1. 基礎データ</b>		
高等教育機関数（大学・大学院・その他）	大学：1,279校、大学院（ロシア科学アカデミー含む）：1097校 ※2019年、登録ベース	ロシア科学高等教育省 <a href="https://minobrnauki.gov.ru/action/stat/highed/">https://minobrnauki.gov.ru/action/stat/highed/</a>
高等教育の卒業生数（学部生、院生）	80万440人（2019年、学士、専門課程、修士の卒業生の合計）	ロシア科学高等教育省 <a href="https://minobrnauki.gov.ru/action/stat/highed/">https://minobrnauki.gov.ru/action/stat/highed/</a>
高等教育概要（入学、学生生活、卒業）	大学入学希望者は、高校の卒業試験を兼ねた統一国家試験の結果をもとに大学へ出願する。 就職活動は学部4年生時に始めるのが一般的。大学との提携企業にインターンシップをする人が多い。特に人気の大企業は大学が主催するイベントに参加し、就職ガイダンスを行った上でインターン生を選抜する。それ以外には、ジョブフェアや知り合いからの紹介など様々な就職方法がある。	調査会社調べ
学生が就職する一般的な方法、一般的なプラットフォーム（就職情報サイト名など）	大学と提携している企業の中で探すか、あるいは学生が自力で見つけるか、という選択。 大学から推薦を受けて企業でのインターンシップに向かい、評価を得てそのまま正式に就職という流れが特にホワイトカラー職で目立つ。その他に一般的な就職方法は、各地で開催されるジョブフェアだ。企業と求職者が直接接触できることが特徴。 単独で就職先を探すのであれば、hhやSuperjobのような求人サイトが一般的。さらに最近は、SNSを通し、知り合いの紹介で推薦を受け就職やインターンをするケースも増えている。	求人サイト「hh」（head hunterの頭文字） <a href="https://hh.ru/">https://hh.ru/</a> 求人サイト「Superjob」 <a href="https://www.superjob.ru/">https://www.superjob.ru/</a>
卒業後の一般的なキャリア形成	コロナ禍の前であれば、トップ大学の卒業生はインターンシップや大学での試験成績で大学での推薦を得て、就職先を見つけることができた。大学の推薦を使わない学生は、ジョブフェアや求人サイトや知り合い推薦を使って就職活動を行っていた。就職後の転職は一般的であり、一つの企業に長く働くことに拘るケースは少ない。 コロナ禍の現在、大規模イベントの開催禁止など各種経済活動の制限により、多くの卒業生の就職は困難になっている。さらに多くの企業は在宅勤務に切り替えたため、人材の効率化の面で職歴のない求職者の学生の採用を控えているのが現状だ。逆に社会人経験者は問題なく就労できる傾向にあるが、必要でなければあえて仕事を変える傾向にはない。	調査会社調べ

項目	ロシア	根拠資料
キャリアへの一般的な考え方（海外勤務や外国企業への勤務意欲、仕事で大事にしていることなど）	2018年の調査によると、30歳以下の若者の半数以上（57%）が海外勤務を希望している。希望者が考える海外勤務の魅力は給料が高いこと、新しい経験、高い生活レベル、良い就業機会だ。海外就職を希望する人の人気国はドイツ、イギリス、アメリカ。 また、海外就労、特に欧米で勤務している多くのロシア人が、ロシアへ帰るつもりがなく、海外に留まることを希望している。	大手紙「ベドモスチ」 <a href="https://www.vedomosti.ru/management/articles/2018/06/27/773870-molodezh-za-granitsei">https://www.vedomosti.ru/management/articles/2018/06/27/773870-molodezh-za-granitsei</a>
学卒者／院卒者の給与の考え方や相場	求人データベースによると、2019年、専門性の高い大学卒業生の年間給与水準は次の通りであった。職務経歴なしの学生：4,679ドル、職務経歴1～3年：5,560ドル、職務経歴3～5年：5,767ドル。なお、本水準はあくまで目安で、給与のレベルは業種、地方、企業・団体ごとに異なる。	「ロシア労働市場における中等専門教育・高等教育卒業生」（高等経済学院など） <a href="https://lirt.hse.ru/data/2020/07/22/1596769782/Graduate_e_book.pdf">https://lirt.hse.ru/data/2020/07/22/1596769782/Graduate_e_book.pdf</a>
学生との主要交流イベント（日本企業も参加できるイベント）	モスクワとサンクトペテルブルクの様な大都市と地域で行われるジョブフェアだ。大都市のジョブフェアは年に10回以上、開催される。最近の傾向としては、地元政府が共催に入るなど公的機関のバックアップが入っている。モスクワ市政府のキャリアポータルサイトによると、2020年に市内で17件のジョブフェアが行われる。	モスクワ市政府・キャリアポータル <a href="https://talent.mos.ru/internships/#internships-block-3">https://talent.mos.ru/internships/#internships-block-3</a>
<b>2. 日本語人材</b>		
外国への留学生数、うち日本への留学生数	ユネスコと経済協力開発機構によると、2014～2018年の期間において、ロシアから海外に留学する学生は年間平均で5万4,657人。日本へ留学するロシア人学生は他国と比較すると少なく、2014～2018年の間で日本に留学したロシア人学生は年間平均289人であった。	OECD、連邦政府資料より調査会社調べ
日本語専攻の卒業生数	2019年に日本語を専攻した学生は1874人（学士、専門課程、修士、大学院）。ロシアで日本語を教えている大学は28校。	ロシア科学高等教育省 <a href="https://minobrnauki.gov.ru/action/stat/highed/">https://minobrnauki.gov.ru/action/stat/highed/</a>
日本語を専攻する学生の人気の就職先／一般的な就職先	日本語を学んだ大学の卒業生は、日本の伝統的な強みである技術系の企業に関心を示す傾向がある。人気なのは自動車関連企業や機械関連のメーカー各社、あるいは商社だ。その他、日ロ間の経済協力を沿って行われているプロジェクトに参画している企業も関心を集める可能性がある。	調査会社調べ

項目	ロシア	根拠資料
キャリアへの一般的な考え方（海外勤務や外国企業への勤務意欲、仕事で大事にしていることなど）	<p>日系企業に入社を希望する者もいるが、特に優秀な層はロシアの政府機関や政府関連企業への就職を希望する傾向がある。また、日本語だけではなく英語も使用する会社への人気が高い。</p> <p>日本語人材が日系企業を魅力的に思うのは、会社の手厚い研修制度や、生活面などの福利厚生の高さだ。福利厚生については、従業員本人だけでなくその家族に対しても手厚いサポートを用意している印象があり、期待される傾向がある。</p>	調査会社調べ
日本語を専攻する学生へ日本企業がコンタクトする方法（イベント、大学就職課へのコンタクト、など）	<p>日本語学科・専攻を有する大学とのネットワークを構築し、学内のキャリアイベントに参加するなどを通して学生へ自社紹介することが重要。近年では日ロの大学間交流が盛んになっているため、ロシアの大学とネットワークを構築するのが難しければロシアの大学と交流している日本の大学にコンタクトすることも一案。</p>	<p>日露経済協力・人的交流に資する人材育成プラットフォーム  <a href="https://russia-platform.oia.hokudai.ac.jp/association/">https://russia-platform.oia.hokudai.ac.jp/association/</a></p>
日本語専攻を有する主要高等教育機関3校程度とそれぞれの特徴、ウェブサイト（英語）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モスクワ国際関係大学（多くのロシアの政治家やビジネスマンを輩出。日本語コースでは日本語だけではなく地域研究も行う）  <a href="https://english.mgimo.ru/">https://english.mgimo.ru/</a></li> <li>・モスクワ国立言語大学（日本語を含め、外国語を学べるロシアで最も有名な大学。日系企業に勤務する卒業生も多い）  <a href="https://linguanet.ru/en/">https://linguanet.ru/en/</a></li> <li>・モスクワ国立大学付属アジア・アフリカ諸国大学（東洋学者やアフリカ研究者、アジアとアフリカの地域を専門としたスペシャリストを養成する機関）  <a href="http://iaas.msu.ru/index.php/ru/">http://iaas.msu.ru/index.php/ru/</a></li> <li>・極東連邦大学（ロシアの極東に位置する有力大学の一つであり、アジア太平洋地域におけるロシアの一大教育機関）  <a href="https://www.dvfu.ru/en/">https://www.dvfu.ru/en/</a></li> <li>・サンクトペテルブルク国立大学（モスクワ国立大学と並ぶ名門。東洋学部で日本語を学習することができる）  <a href="https://english.spbu.ru/">https://english.spbu.ru/</a></li> </ul>	各種報道やヒアリングから記載

項目	ロシア	根拠資料
<b>3. IT・デジタル関連人材</b>		
<b>(1) 大学生・大学院生の新卒者の採用</b>		
IT・デジタル専攻の卒業生数	3万5,531人（2019年、IT専攻者）。内訳は、学士2万5,225人（71.0%）、専門課程2156人（6.1%）、修士8,150人（22.9%）	ロシア科学高等教育省 <a href="https://minobrnauki.gov.ru/action/stat/highed/">https://minobrnauki.gov.ru/action/stat/highed/</a>
ITを専攻する学生の人気の就職先／一般的な就職先	ITを専攻した多くの学生は、専門性を生かせるIT関連の企業への就職を希望する。人気なのはYandex、Google、Microsoft、Mail.ru、Intel、Kaspersky Labなど国内外のIT大手への就職だ。実際の就職先の統計はないが、多くの学生は専門性を生かせるIT企業への就職を試みていると推定される。	人材サイト「hh」人気企業ランキング <a href="https://rating.hh.ru/profile/rating2019/">https://rating.hh.ru/profile/rating2019/</a>
キャリアへの考え方（海外勤務や外国企業への勤務意欲、仕事で大事にしていることなど）	2018年調査によると、若手IT人材のうち海外就労を希望する層は65%。理由は「国際的な経験」や「高い給与」「ステップアップ」といった選択肢が上位に来る。機械学習・AI・ロボットといった分野については特に海外志向が強い。	人材会社「ケリー・サービス・ロシア」（元データはリンク切れ） <a href="https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2020/1201/9748723b4a1f57e2.html">https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2020/1201/9748723b4a1f57e2.html</a>
外国語力（日本語、英語）	2012年調査によると、ITを専門とする求職者の81%が何らかの英語の知識があると回答している。そのうち、7割程度は専門分野の文献を読める以上のレベル。現在の学生も大きくは変わらないと推定される。日本語ができるIT専門家は非常に少ない。	人材会社「hh」記事 <a href="https://hh.ru/article/12446">https://hh.ru/article/12446</a>
第三国（当該国&日本以外）での就職状況	2017年に海外移住した労働生産年齢のロシア人は約30万人、一定数はIT関連と推定される。チャンスを掴み欧米で勤務する希望はありとみられ、実際に新興有力金融機関では1年間で10名ものIT技術者が退職し米国に転じたという。さらに欧米やイスラエル等で、ロシア人がIT分野で起業したりVCとして活躍したりするケースも多い。	・「事実と論拠」紙 <a href="https://aif.ru/society/opinion/pochemu_rossiyskie_it-specialisty_uezzhayut_za_granicu">https://aif.ru/society/opinion/pochemu_rossiyskie_it-specialisty_uezzhayut_za_granicu</a> ・学生向けポータルサイト「Potok」 <a href="http://miptstream.ru/2018/02/28/it-migration/">http://miptstream.ru/2018/02/28/it-migration/</a> ・ロシアのITコンサルへのヒアリング
日本企業や日本での勤務の考え方（あれば）	ITを専攻する学生が日本企業の情報を得る機会は極めて限定的。IT人材への調査でも、日本での就労を希望する声は極めて少ない。ITを専攻する学生が日本企業を避けるというよりは日本企業で就労する情報を得る機会がないことがその背景にあるとみられる。	各種報道やヒアリングから記載

項目	ロシア	根拠資料
IT関連専攻を有する主要高等教育機関3校程度とそれぞれの特徴、ウェブサイト（英語）	<p>・モスクワ国立大学（ロシアの最も古くて、大きな大学の一つ。プログラミングコンテストでの優勝常連校）  <a href="https://www.msu.ru/en/index.html">https://www.msu.ru/en/index.html</a></p> <p>・モスクワ物理工科大学（ロシアで理論、実験、応用物理学や数学や情報工学や化学、生物学などの専門家を教育するトップ大学）  <a href="https://mipt.ru/english/">https://mipt.ru/english/</a></p> <p>・サンクトペテルブルク国立IT機械光学研究大学（ITやロボット技術の専門家の育成に特化した、サンクトペテルブルクに位置する大学）  <a href="https://en.itmo.ru/">https://en.itmo.ru/</a></p> <p>・サンクトペテルブルク国立大学（モスクワ国立大学とならぶ名門総合大学。プログラミングコンテストでも優勝者を輩出）  <a href="https://english.spbu.ru/">https://english.spbu.ru/</a></p>	各種報道やヒアリングから記載
IT・デジタルを専攻する学生へ日本企業がコンタクトする方法（イベントなど）	イベントへの参加が一般的。各地で開催されるジョブフェアやキャリアデーなどが一例。最も効果的なイベントはロシアの大学で企業と学生向けに行われるキャリアイベントだと考えられる。そのほか人材会社のオンラインセミナーやフォーラム等、IT技術者向けのイベントも、実質的にはキャリアイベントになっていることもある。	各種報道やヒアリングから記載
<b>(2) 実務経験者（大卒者）の採用</b>		
IT・デジタル分野での就労者数	ロシアのIT分野での雇用者数は40万～70万人と推定される。	マネジメント層向けポータルサイト「executive.ri」 <a href="https://www.executive.ru/career/labormarket/1987123-pravda-li-cto-pokolenie-z-otberet-rabotu-u-sorokaletnih">https://www.executive.ru/career/labormarket/1987123-pravda-li-cto-pokolenie-z-otberet-rabotu-u-sorokaletnih</a>
実務経験者（転職者）の就職方法	大学のコネクションの利用可否を除けば、新規学卒者とおおよそ一緒。求人サイト、特に人気なのはHeadhunter, Superjob, Rabota.ru, Jobsora, Joblab, Avito, Careerist.ruといったサイト。その他、最近ではVK、Facebook、Telegram、OdnoklasskiniのSNS・メッセージも利用されることが多い。海外の大手企業に就職する求職者は主にHeadhunterとGlassdoorを使っている。	各種報道やヒアリングから記載
外国語力（日本語、英語）	2012年調査によると、ITを専門とする求職者の81%が何らかの英語の知識があると回答している。そのうち、7割程度は専門分野の文献を読める以上のレベル。現在も大きくは変わらないと推定される。日本語ができるIT専門家は非常に少ない。	人材会社「hh」記事 <a href="https://hh.ru/article/12446">https://hh.ru/article/12446</a>

項目	ロシア	根拠資料
IT・デジタル分野の実務経験者へ日本企業がコンタクトする方法（イベントなど）	上記で挙げたような求人サイト。知名度向上であれば、IT技術者向けのイベント（「TechTrain」など）が考えられる。また、求職者はFacebookやVKなどのSNSも駆使して転職先を探すこともある。	各種報道やヒアリングから記載
<b>4. 機械工学・電気関連人材</b>		
<b>(1) 大学生・大学院生の新卒者の採用</b>		
機械工学・電気関連専攻の卒業生数	ロシアで2019年に機械工学と電気工学を専門にした学生は60,709人が卒業した。内訳は、学部卒が45,030人（74.2%）、専門課程は1,611人（2.7%）、修士は14,068人（23.2%）だった。	ロシア科学高等教育省 <a href="https://minobrnauki.gov.ru/action/stat/highed/">https://minobrnauki.gov.ru/action/stat/highed/</a>
機械工学・電気関連系を専攻する学生の人気の就職先／一般的な就職先	外国語ができるエンジニア分野の卒業生は、日系を含めた自動車メーカーや建設機械メーカーなど有名外資企業への就職を希望する。実際には、ロシアの大手メーカーや関連企業に入社するケースが多い。2020年に機械・エンジニア分野の学生から就職先として最も人気のあった企業は、宇宙開発を行うロシア国営企業、ロスコスモスであった。	調査会社調べ
キャリアへの考え方（海外勤務や外国企業への勤務意欲、仕事で大事にしていることなど）	ロシアのトップ工科大学を卒業した技術者は国内外で需要が高く、海外就職に関心を持つ層は一定数いる。特に企業からロシア人学生に期待されるのは自然科学と数理工学の知識レベルだ。特に海外への就職を希望するモチベーションの高い学生は、海外に留学して海外大学の卒業資格を得て、海外での就職を有利に運ぶことを目指す。	調査会社調べ
外国語力（日本語、英語）	基本的に技術系の卒業生が勉強する言語は英語だ。特に、技術的な専門用語については英露で理解できるというケースがよく見られる。外資系企業に就職したい学生は複数の言語を勉強するケースもあるが、日本語ができる層は極めて少ない。	調査会社調べ
第三国（当該国&日本以外）での就職状況	まとまった情報はないが、海外で勤務する層は欧米の技術国で自分の能力を発揮したいと考える。国によって給料は異なるが、年収平均は9万USD～11万USDとみられる。	テクノロジー系サイト「vc.ru」紙 <a href="https://vc.ru/flood/18934-engineers-salary">https://vc.ru/flood/18934-engineers-salary</a>
日本企業や日本での勤務の考え方（あれば）	基本的に日本企業のイメージは主に自動車生産や電機、ハイテク産業というものだ。ITよりは身近に感じられる可能性はあるが、実際に日本企業で勤務するという経験は少ないと見られる。	調査会社調べ

項目	ロシア	根拠資料
機械工学・電気を専攻する学生へ日本企業がコンタクトする方法 (イベントなど)	通常は、技術系を専攻した学生は大学が推薦した企業でインターンシップを行って就職するケースが多いため、学生のうちから大学と組むことが重要。社会人経験者の場合には、求人サイトの利用も検討する。近年はロシアの大学と提携する日本企業も出てきているため、先行事例を参考にすることも考えられる。	各種報道やヒアリングから作成
機械工学・電気関連系専攻を有する有力な高等教育機関3校程度とそれぞれの特徴、ウェブサイト（英語）、連絡先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モスクワ国立大学（ロシアで最も名門とされる大学の一つ。英THE誌によると産学連携で高評価） <a href="https://www.msu.ru/en/">https://www.msu.ru/en/</a></li> <li>・ロシア技術大学（自動化技術、無線・電子工学などの分野の専門家を教育する大手大学の一つ） <a href="https://english.mirea.ru/">https://english.mirea.ru/</a></li> <li>・サンクトペテルブルク工科大学（エンジニア教育を行う名門大学。大手日系企業との連携実績を有する） <a href="https://english.spbstu.ru/">https://english.spbstu.ru/</a></li> </ul>	各種報道やヒアリングから作成
<b>(2) 実務経験者（大卒者）の採用</b>		
機械工学・電気関連分野での就労者数	ロシア産業商務省によると、2020年に機械工業と電気工業分野での勤務者は約6万8,500人。	ロシア産業商務省 <a href="https://minpromtorg.gov.ru/activities/sistema/">https://minpromtorg.gov.ru/activities/sistema/</a>
実務経験者（転職者）の就職方法	求人サイトでの求職が一般的。よく利用される求人サイトはHeadhunter、Superjob、Rabota.ru、Jobsora、Joblab、Careerist.ruなどだ。	調査会社調べ
外国語力（日本語、英語）	学生同様、主要外国語は英語だ。特に、技術的な専門用語については英露で理解できるというケースがよく見られる。日本語ができる層は極めて少ない。	調査会社調べ
機械工学・電気を専攻する実務経験者へ日本企業がコンタクトする方法（イベントなど）	通常は、技術系を専攻した学生は大学が推薦した企業でインターンシップを行って就職するケースが多いため、学生のうちから大学と組むことが重要。社会人経験者の場合には、求人サイトの利用も検討する。	調査会社調べ

項目	ロシア	根拠資料
<b>5. その他</b> 当該国政府の高度人材育成方針	課題となるデジタル分野の人材不足の解消が主な方針。デジタル人材の育成不足、およびデジタル人材をはじめとする高等教育を受けた層の国外流出が課題。ロシア政府は2017年7月に「デジタル経済発展プログラム」を発表、ロシアで活躍するデジタル人材育成を旗印の一つに掲げ、特にデジタル・IT人材の不足解消に取り組んでいる。	論文検索サイト（オリョール国立大学） <a href="https://research-journal.org/economical/problemy-kadrovogo-deficita-v-usloviyax-cifrovoj-ekonomiki/">https://research-journal.org/economical/problemy-kadrovogo-deficita-v-usloviyax-cifrovoj-ekonomiki/</a> ジェトロ <a href="https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2019/0601/50e87c9cbd3a1577.html">https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2019/0601/50e87c9cbd3a1577.html</a>
新型コロナウイルスの影響（短期的な変化に加え、構造的な変化等も見られる場合はそれも記載）	短期的に、大学卒業生の就職は厳しい。2020年夏の大学卒業生が就職先のないまま労働市場に参入している。名門大の学生でも就職に苦戦している。大学側もオンラインジョブフェアや地元企業との連携を通じ就職支援を行っている。 構造的な変化としては、地方の学生に有利に働く可能性がある。特に今度オンラインでのジョブイベント等が一般的になれば、大都市と地方の情報格差は縮まる。国土の広いロシアでは就職活動の一部がオンラインに置き換わる意義は大きい。	・ロシア労働省 <a href="https://mintrud.gov.ru/employment/64">https://mintrud.gov.ru/employment/64</a> ・「ガゼータ」紙 <a href="https://www.gazeta.ru/social/2020/07/21/13160443.shtml">https://www.gazeta.ru/social/2020/07/21/13160443.shtml</a> ・ロシア科学高等教育省 <a href="https://minobrnauki.gov.ru/press-center/news/?ELEMENT_ID=21524">https://minobrnauki.gov.ru/press-center/news/?ELEMENT_ID=21524</a> ・各種報道やヒアリング